

縄文時代	狩猟・採集の生活	国や政治体制といったものは存在せず、小さな集団が共同で狩猟・採集などを行い生活していた。
弥生時代	稲作の開始	農耕が始まり、地域ごとに力を持つ首長が現れ、これらの首長たちが互いに連合を組むようになった。
古墳時代	大和政権の台頭	大和政権が現れ、地域の豪族を支配下に置きながら中央集権的な政治を展開し、大規模な古墳が築かれた。
飛鳥時代	天皇中心の政治	聖徳太子が政治の基盤を築き、天皇が中心となって政治を行う体制が確立した。
奈良時代	仏教による繁栄	国家として仏教を取り入れ、東大寺などの大仏が建てられた。
平安時代	貴族の政治	天皇よりも実際の政治を行う貴族たちが力をもち、文化が花開いた。
鎌倉時代	武士の政治	源頼朝によって開かれた幕府によって、武士が政治の中心となった。
室町時代	分裂と統一の試み	足利将軍家による統一の試みにより、分裂と統一の間で揺れ動いた。
安土桃山時代	天下統一への歩み	織田信長、豊臣秀吉によって日本は、ほぼ統一された。
江戸時代	幕藩体制	徳川家康により幕府が開かれ、260年以上にわたる平和な時代が続いた。外国との接触を制限する鎖国政策が行われた。
明治時代	近代国家の形成	日本が西洋の制度を積極的に取り入れ、大日本帝国憲法が制定され、天皇を中心とした近代国家へと変わった。
大正時代	民主主義の芽生え	議会政治が発展し、民主主義の考え方が広がり始めた。

縄文時代

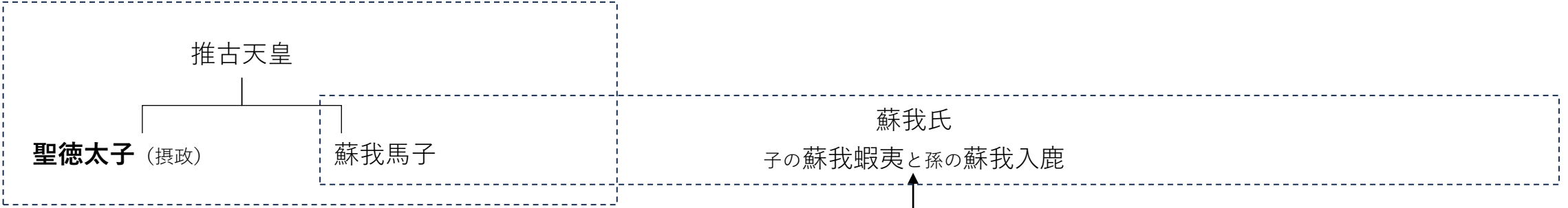
- ・ **狩猟・採集**で生活を営む
- ・ **集落**を形成して共同で生活する
- ・ 縄文土器
- ・ 貝塚

弥生時代

- ・ **稲作**が開始される
- ・ **青銅器**などの金属器が使用される
- ・ 高床倉庫
- ・ 邪馬台国の卑弥呼が魏（中国）に使いを送る

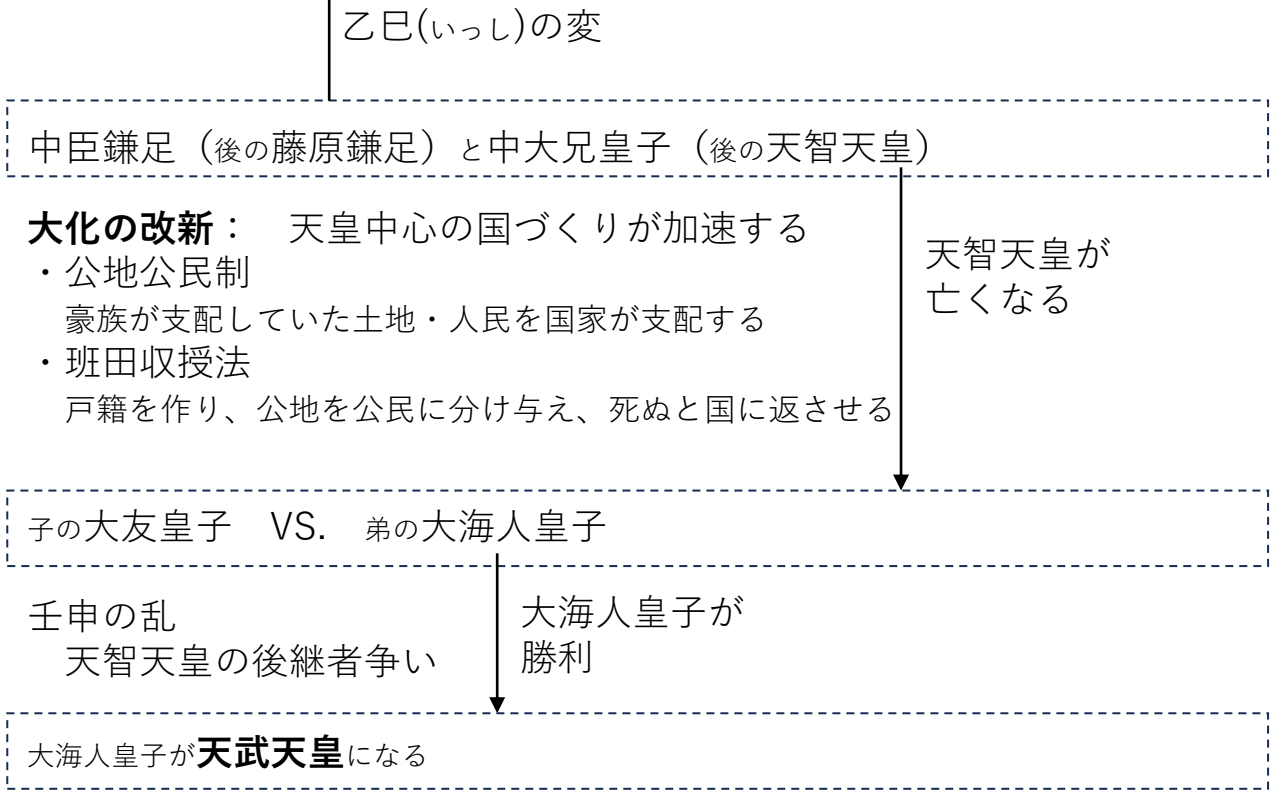
古墳時代

- ・ **大和政権**による統一が進む
- ・ **埴輪**が供えられる
- ・ 前方後円墳
- ・ 百済から仏像や経典が送られ、仏教が伝えられる



天皇中心の国作りを始める

- ・ 十七条の憲法
役人たちの道徳的かつ政治的な指針
- ・ 冠位十二階
能力と実績に基づく階級制度
- ・ 遣隋使の派遣
遣隋使に、小野妹子が選ばれる



唐や新羅に負けない国作り
中国にならった律令や都、歴史書を作るように命じる
↳ 701年に大宝律令が完成

- ・ 律令国家の新しい都として、
平城京が造られる

聖武天皇

・ 仏教の力により、伝染病や災害などの不安から国家を守るべく、国ごとに国分寺と国分尼寺を作らせる。東大寺は、国分寺の中でも特に規模が大きく、国の中心としての役割を担っていた。

・ 開墾を進めるため、墾田永年私財法を出し、新しく開拓した土地は、租を収めることと引きかえに、いつまでも私有地と認める。貴族や寺院の私有地は、荘園と呼ばれるようになる。

仏教による 繁栄

行基

・ 一般の人々に仏教を布教して歩き、人々とともに橋やため池を作る。

鑑真

・ 遣唐使とともに来日し、日本に正式な仏教の教えを伝える。

桓武天皇

- ・都を**平安京**に移す。
- ・東北地方を支配するために、上田村麻呂を征夷大將軍に任命する。
- ・新しい仏教を伝える最澄と空海を保護する。

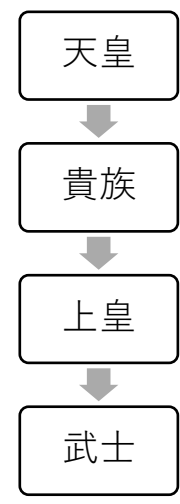
藤原氏による**摂関政治**

- ・紫式部 「源氏物語」
- ・清少納言 「枕草子」

藤原道長

- ・娘を皇后にし、孫を天皇にし、摂関政治を行う。

権力の
移り変わり



白河上皇

- ・院政を行い、藤原氏から朝廷の権力を取り戻す。

鳥羽上皇が
亡くなる

鳥羽上皇

平清盛と源義朝が味方した
後白河天皇が勝利

後白河天皇 VS. 崇徳上皇

平清盛 VS. 源義朝

平清盛
が勝利

平清盛

保元の乱
天皇と上皇の権力争い

平治の乱
平氏の勢力の拡大

- ・後白河上皇の院政を助ける
- ・武士として初めて太政大臣となる
- ・日宋貿易の利益に着目し、神戸の港を整備する

後白河上皇

源頼朝

- ・ 全国を統治するために、守護と地頭という役職を設置する
- ・ 征夷大將軍 に任命され、鎌倉に幕府を開く。

< 鎌倉幕府 >

將軍（幕府のトップ）と御家人（武士）は、土地を仲立ちに
お互いを支えあう「御恩と奉公」の関係で結ばれる

二代目、三代目將軍が暗殺

源氏の將軍は三代で途絶えるが、幕府は、藤原氏や皇族を將軍にむかえ、將軍は九代まで続く。

北条氏による執権政治

後鳥羽上皇

承久の乱

幕府を倒そうと兵を挙げる

幕府が勝利

三代目執権
北条泰時

- ・ 朝廷を監視するために、六波羅探題を設置する
- ・ 武士の法律の見本となる、御成敗式目を定める

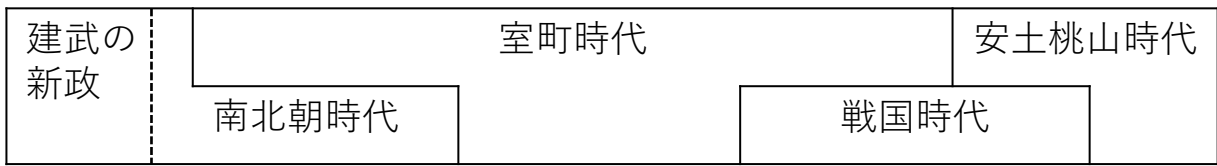
源頼朝の頼朝の妻の北条政子

政子の訴えによって、幕府側の御家人は
結束を固め、朝廷側に勝利

八代執権
北条時宗

- ・ モンゴル（元）の2度にわたる襲来（文永の役、弘安の役）に対応する

重なる時代



後醍醐天皇

- ・足利尊氏を味方につけ、鎌倉幕府を倒す。
- ・天皇中心の新しい政治（建武の新政）を行う。武士の政治を否定し、貴族を重視する政策をとる。
- ・吉野にのがれ、朝廷を主張し、南朝が生まれる。

南北朝時代が約60年続く
天皇が2人、朝廷が2つある時代

武士の不満を受けて挙兵

足利尊氏

- ・京都に天皇を立て、北朝が生まれる。
- ・征夷大將軍に任命され、室町時代を開く。

足利義満

- ・南北朝を統一
- ・倭寇をとりしまり、日明貿易（勘合貿易）を始める

室町時代

足利義政

- ・**応仁の乱**
將軍のあとつぎ問題をめぐって
守護大名の細川氏と山名氏が対立

戦国時代

織田信長

- ・ 室町幕府十五代将軍の足利義昭を追放し、室町幕府が滅亡する。
- ・ 安土では、市での税を免除し、特権的な座を廃止する（楽市・楽座）。
- ・ 流通の妨げとなっていた関所を廃止する。
- ・ 全国統一を目前に家臣の明智光秀に背かれ、本能寺で自害する。

豊臣秀吉

1590年に**天下統一**

- ・ 信長の後継者争いに勝利し、大阪城を築く。
- ・ 太閤検地を行い、全国の土地が石高という統一的な基準で表されるようになる。
- ・ 一揆を防ぐため、百姓や寺院から武器を取り上げた（刀狩）。
- ・ 2度にわたる朝鮮出兵を行う（文禄の役、慶長の役）。

千利休

- ・ 日本の茶の湯の大家である。
- ・ わび茶を完成させる。

約260年

1603年

徳川家康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く。 ・ 幕藩体制を整える（親藩、譜代、外様）。 將軍を中心として、幕府と藩が土地と民衆を支配する仕組み ・ 禁中並公家諸法度を制定する。 ・ 朱印船貿易を行う。
徳川家光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参勤交代を制度として定める。 ・ 島原・天草一揆がおこり、鎖国体制を強化する。 キリスト教の布教を行わない中国とオランダが長崎で貿易が許される。
徳川綱吉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生類憐みの令を制定する。 ・ 儒教を重視し、特に朱子学を丁重に保護する。 ・ 新井白石により財政改革が行われる（正徳の治）。
徳川吉宗 米將軍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 享保の改革（幕府に入るお米の量をとにかく増やすこと） 上米の制（参勤交代の期間短縮のかわりに米を納めさせる）、新田開発、目安箱を設置、公事方御定書（裁判の基準となる法律）を制定
田沼意次 十代將軍老中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株仲間を奨励し、特権を与える代わりに営業税を納めさせる。 株仲間から田沼へのわいろが横行（わいろ政治）
松平定信 意次の後に老中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寛政の改革（質素儉約） 困米の制（無駄遣いを減らして米を蓄えておく）、朱子学以外の学問を禁止
水野忠邦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天保の改革 株仲間の解散、外国船打払令をゆるめる。
徳川慶喜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大政奉還を行う。

1868年

明治維新

- ・五箇条の御誓文
- ・**版籍奉還**
- ・廃藩置県
- ・三大改革（学制、徴兵令、地租改正）

自由民権運動

- ・板垣退助らが国会開設を求め、自由民権運動がはじまる
- ・国会開設の勅諭
- ・板垣退助を党首とする自由党、大隈重信を党首とする立憲改進黨が結成

大日本帝国憲法

- ・伊藤博文らが起草し、1889年に発布

日清戦争

- ・下関条約
- ・三国干渉（ロシア、ドイツ、フランス）
- ・八幡製鉄所の操業開始
- ・日英同盟

日露戦争

- ・ポーツマス条約
- ・韓国併合

第一次世界大戦

- ・ 中国に二十一か条の要求
- ・ 大戦景気と米騒動
- ・ 原敬による本格的な政党内閣
- ・ ベルサイユ条約
- ・ 国際連盟

大正デモクラシー

- ・ **民主主義**を求める運動が高まる
- ・ 労働争議
- ・ 小作争議
- ・ 全国水平社
- ・ **関東大震災**
- ・ ラジオ放送開始
- ・ 普通選挙法の成立